

長寿の湯の一時休業に係る説明会 会議録

日時：①令和6(2024)年12月22日(日) 午前10時から午前11時20分

②同12月23日(月) 午前10時から午前11時20分

場所：両日とも、健康長寿センター1階 集団検診室

参加者：①45名 ②27名 計72名

市側：保健福祉部長、健康増進課長、健康増進課主幹、
健康増進課保健予防係長

- 説明会の進行は「式次第」のとおり。
- 長寿の湯の一時休業に係る説明内容は、別紙「長寿の湯の一時休業に係る説明会資料」及び「別紙」のとおり。
- 両日をとおした質疑応答の主なものは次のとおり。

質疑内容	回答内容
長寿の湯は、福祉事業として営利を目的としない施設ではないのか。	事業の位置づけは、健康長寿センターが3つの目的「福祉の向上」「健康の増進」「世代間の交流」をテーマとした複合施設となっており、長寿の湯は「世代間交流」をテーマとした施設です。
ほかの施設は市外の利用者の料金が安い。長寿の湯は市内外で差が無いが、どのような方針だったのか。	市外の方にも広く御利用いただく施設として、お住まいにより使用料を分けるといったことをしていません。
温泉は、健康と福祉に関係が無いのか。 温泉を続ければ保険料や介護保険料は下がるのではないのか。	温泉のみが健康長寿の延伸に寄与するといったではなく、食生活の改善事業や運動、介護予防事業、交流 総合的な施策を組み合わせる中で市民の健康寿命の延伸に努めています。
施設運営で赤字が続いていたが、利用料の値上げを検討しなかった理由は。	過去の使用料値上げ検討に際して、東日本大震災、新型コロナの流行等を理由に、値上げは実施していません。
赤字を無くす場合、料金1375円、高齢者550円が必要と聞いた。またアンケートでは、長寿の湯がなくなると困るか、といった問いに、半分以上が困らないと回答している。半分の人が困るからという観点で検討してほしい。	施設の収支差額を埋めるには、料金設定は現行の2.75倍になるとの観点を示したものです。近隣に代替の入浴施設があることなどを含めて総合的に勘案した結果、将来への財政負担の先送りをしていないため、令和6年度末での市の管理運営終了を決定しました。

収支差額が赤字の状況で、市側で何か対応したのか？	管理方法を見直し、指定管理者制度を導入しサービス向上と合わせて運用費用の圧縮を見込みました。使用料値上げや、誘客に繋がるイベントの実施といったサービスの実施はしていません。
民間でこの赤字を見て、引き受ける人がいるか。	民間活用をする際に、温泉施設のみでは経営が困難であることは考えられます。このため、民間活用の際には、使用料の値上げ、温泉以外の他事業の展開(飲食や介護事業等)が想定されます。 現時点では、施設の活用に関する有効な提案を得るに至っていませんが、今後も民間企業への働きかけを継続していきます。
コロナ下ではサウナと水風呂を休んだことがあったが、この際にどれだけの費用が削減となるといった比較を行い、設備を休止することで赤字圧縮とならないか検討はしたか。	長寿の湯の支出の約 8 割が光熱水費と灯油代となっています。その中でも、灯油代(温泉を一定の温度に保つための加温、シャワーのお湯、空調に利用)の費用負担が一番大きい。一方で、サウナ・水風呂の費用は、だいたい一人当たりの燃料経費の内 10%以下であり、休止しても大きな赤字圧縮となりません。
経費の内訳を知りたい。	経費の内訳は、概ね次のとおりです。 長寿の湯の経常的な費用として約 6000 万円。 内訳は、人件費約 1000 万円、光熱水費約 2000 万円、灯油代約 2000 万円。その他に、温泉施設修繕費用がかかります。
民間事業者の参入条件として、独立採算制ということを外すことはできないか。	民間事業者の施設活用について独立採算を条件とした理由は、市としてこの施設に継続的な財政負担を行わないことが目的の一つであるためです。
施設を休業した場合、温泉が出なくなってしまうのではないか。	今後、月に数度温泉ポンプを稼働し、定期的に温泉を汲み上げることで継続的に温泉が使用できるように対応します。
温泉を利用している人が限られているとのことだが、野球をやらない人は野球場に行かない、サッカーも然りと考える。施設利用のコアな人は決まっているため、限られた人だけが利用するから辞めるとするのは納得できない。	サッカー場・野球場は、民間企業が近隣で運営していません。一方で、温泉施設は民間で経営するものが複数存在します。このため、サッカー場・野球場と同様の観点で入浴施設を維持することは考えません。
長寿の湯が無くなった場合	市内に複数の民間の入浴施設があることが管理

は、華の湯やグリーングリーンを利用しろということか。	運営終了の理由のひとつであり、他の市有温泉を利用して欲しいとの理由ではありません。
民間による活用について、高齢者が楽しみで集まれるような施設として欲しい。	長寿の湯は世代間交流をテーマとした施設のため、市の管理運営終了後、温泉を使用する、しないに関わらず、世代間交流のテーマを達成できるような施設としていきたいと考えます。
長寿の湯が休業となる経緯について公表して欲しい。	経緯について、市のホームページで公表します。